

# HOTeye

心と心のかよいあう福祉の情報誌

ホットアイ

2023 Vol.113

- P1 **特集** 社会福祉事業所紹介  
子どもたちがワクワク輝くことをいっばいに  
社会福祉法人さとに会 城北保育園
- P5 チャレンジ福祉の仕事  
社会福祉法人さとに会 城北保育園
- P6 福祉専門職の紹介  
利用者と一緒に考え共に喜びを  
[子育て支援センター担当保育士]
- P7 福祉人材センター情報  
福祉の職場で働きたい方と人材を求める  
事業所との橋渡しをしています
- P8 ボランティア・市民活動センター情報  
とっとりボランティアバンク登録団体紹介  
託児ボランティアあいあい

- P9 ボランティア・市民活動センター情報  
一般社団法人つなぐプロジェクト  
「te to te～つなぐん家～」  
“ただいま”“おかえり”家庭のような空気感
- P11 ことぶき高齢者情報  
第31回 因伯シルバー大会
- P12 ことぶき高齢者情報  
いきいきシニア
- P13 鳥取県社会福祉協議会からのお知らせ

地域のひとと子どもたちが交わる保育園



# 社会福祉法人さとに会 城北保育園

商業施設と住宅地が混在する鳥取市の丸山交差点近くにある「城北保育園」は、元鳥取県警察署跡地に2020年に移転し複合施設として「城北地区公民館」と隣り合わせに造られています。また「じょうほく子育て支援センター」も併設し袋川との間にある「青葉公園」と接して豊かな自然も感じられ利便性が良く、地域ぐるみでの保育に恵まれた環境の中で子どもたちは育まれています。



※取材は感染対策を徹底した上で、撮影時のみマスクを外しています。

# 子どもたちがワクワク輝くことをいっばいに



園庭は、カー杯走ったり、遊びを見つける楽しさを友だちや先生と一緒に工夫したりできるように、固定遊具などは一切設置してありません。

城北保育園の東側を流れる袋川との間にある「青葉公園」は、大きな桜の木が何本も立ち並び、豊かな自然を感じられる中で、春には桜の木の下で園児たちがお花見を楽しみます。一年を通して天気の良い日には、その日の保育計画の中に青葉公園へのお出かけが組まれます。園長の有本睦美さんは「子どもたちにとって青葉公園へのお出かけは、虫探しなど『ほうびの探検時間』のように喜ばれています」と笑顔を見せます。

## 世代を越えて地域ぐるみで子どもたちを育む

梅雨の晴れ間のある日、園庭に子

どもたちの歓声が響きます。梅雨入りで中止になっていた城北地区健康づくり同好会の方々の第11回『なかよしグランドゴルフ大会』が晴天の中で行われていました。

毎年春と秋の2回開催され、子どもたちは、年齢差70歳のおじいちゃん、おばあちゃんから事前の練習、指導してもらい、大会に挑みます。

いつも一緒に参加する城北地区健康づくり協議会の植村俊夫会長は「子どもと高齢者のふれあいの機会として、とてもいい。園にとっても良い交流となり、これからも続けて



「なかよしグランドゴルフ大会」の開会式。終了後には表彰式も行われました。

いきたい」と、子どもたちを微笑ましく見守っています。

公民館と園のつながりは深く、秋に公民館と園を会場に開催される「城北地区文化祭」では、園児の作品を展示して地域の人に見てもらい、ステージ発表では年長児が「鳴子踊り」をたくさんの方の前で披露しています。



城北地区健康づくり協議会会長の植村俊夫さん

また、公民館の「育児サークル」のハロウィンやクリスマス会の手伝いを園がするほか、鳥取市社会福祉協議会のバックアップもあり、昨年度は育児用品のリユース会を行いました。

地域の交通安全協会城北支部には、園児の交通安全教室をはじめ、園内での避難訓練や防犯訓練にも協力してもらったりほか、近隣の幼稚園、小中学校と交流会を持つなど、地域ぐるみで子育てを支援しています。

## 地域の子育てを支える、子育てママの居場所

園に併設されている、育児中の保護

社会福祉法人さとに会  
城北保育園  
ありもと むつみ  
**有本 睦美**  
園長



# 社会福祉法人さとに会「城北保育園」

※取材は感染対策を徹底した上で、撮影時のみマスクを外しています。

者と子どもをサポートする地域交流の場『じょうほく子育て支援センター』は、月曜日から金曜日までの午前9時30分から午後3時30分まで、自由に子どもと保護者が利用できます。

城北保育園の担当保育士が育児に関する情報提供や、子育てについての不安や悩みの相談を受けるなど、城北地区に限らず鳥取市内の人たちにも広く利用されています。また、季節ごとのイベントや外部の講師を招いて、育児に関わる催しなども行っており、顔見知りとなった利用者者に喜ばれています。

子育て支援センターは、主に子どもと保護者が利用していますが、ママ・ニティママを対象に地域の保健師と話をする機会や、出産後わずかな期間しか使わない育児用品のリユースのほか、ベビー用品(ベッドやバウンサーな

ど)の無料レンタルも行っており、出産を控えた人も安心して過ごせる場としての役割も果たしています。

また園内にある一時預かり保育『いちごルーム』は、鳥取市在住で生後6か月から就学前までの未就園児のみの利用で、保護者のリフレッシュや産前産後など

と利用形態は様々ですが、園庭で園児と一緒に遊んだり、遊戯室で同年齢の子どもたちと遊ぶ、ふれあいの機会にもなっています。

## ICTシステムの導入で 保育士の業務を軽減

城北保育園では、ICT保育業務支援システム『コードモン』を導入し、登園・降園時間管理システムで全クラスの出席状況を保育士が共有・把握し、園内の連絡事項も各部屋に配置されたタブレットのアプリを通して発信しています。

そして、保育日誌から保育計画、身体測定・発達記録などの電子化により、今まで手書きしていた連絡ノートへの記入も、タブレット端末でのメールやアプリで記録・発信できるようになり、保育士の事務作業や園の



別棟で併設された「じょうほく子育て支援センター」



一時預かり「いちごルーム」



子育て支援センターには、毎日数組の親子が訪れ、ボランティアの読み聞かせなどイベントを楽しんだり、相談や談笑したりと、有意義な時間を過ごしています。



各保育室に配置されたタブレットは、連絡事項を交信したり、保育日誌を記録したりするなど、幅広く活用されています。



入口に設置されたコドモンの打刻機に、配布されたカードをかざすか、スマホアプリでQRコードを読み込むと、登園・降園時間が記録されます。

記録・管理など業務全般を軽減しています。

また、保護者もアプリを活用することで、園での園児の情報が共有できるうえ、今までのお手紙配布を『お知らせ配信』でアプリ配信しています。

このほか、給食管理でもICT化を進めたことで、スムーズな給食献立の立案や法人内の栄養士同士の連携も取りやすくなりました。

副園長の本城美穂さんは「システム導入は、子どもたちの安全対策にもつながりますし、コロナ禍でもお子さんの園での姿を発信することで伝わりやすく、親御さんとの会話が盛り上がるなど、コミュニケーションツールにもなっています」と、違った角度でのシステムメリットを感じています。

### 残業を減らし当たり前に 休暇を取れる環境に



副園長の本城美穂さん

園では毎週水曜日を「ノー残業デー」としています。行事前などは難しくとも、水曜日に限らず定時退勤をすることで残業時間の削減に努め、職員の疲労軽減とリフレッシュを図っています。

また、職員の家庭の状況に配慮した「短時間勤務制度」も導入しているうえに、「退勤しやすい職場づくり」を目指しています。勤務中は気配り目配りを怠らず、緊張することが多い仕事なので、退勤後はしっかりと休むことで明日の仕事へとつながるようにしています。

そして『育児休暇』はもちろん、『誕生日休暇』は、頑張っている自分への褒美として、当たり前前に取得してもらっています」と話す有本園長は、周りの職員から「おめでとう」と言ってもらえることも、職場の良いコミュニケーションとして大切に、働

きやすい職場づくりに努めています。

保育の全般を見渡す主幹保育士の福井美樹子さんは「職員の保育状況を確認しながら、休憩をちゃんと取るように、コドモンを活用して残業をしないようにと、つらさや不満を和らげるように努め、気さくに話せ相談しやすい空気づくりを心掛けています」と、風通しの良い職場環境を目指しています。



主幹保育士の福井美樹子さん

有本園長は「子どもたちから、楽しかった」と聞けることはもちろん、できなかったことに向き合い、できなかつたことに向き合い、できた！という言葉を聞けることが大好きです。若い職員にも言えますが、試行錯誤を繰り返したその努力が達成感につながる瞬間、また、問題を一つずつ解決するたびに自信がついた表情になる、そんな場面に立ち会えたときはとても嬉しく思います」と、色々なことに興味やこだわりを持ち、園児も職員もワクワクしながら一人ひとりが輝ける保育園を目指しています。

#### 【概要】

- 所在地／鳥取県鳥取市青葉町3丁目121-1
- 開設日／2020(令和2)年4月に鳥取市から当法人に移管
- 運営主体／社会福祉法人さとに会
- 職員数／職員数45名(正職員27名、臨時職員等18名)  
内訳：園長1名、副園長2名、事務職員1名、主幹保育士1名、保育士25名、保育補助員10名、栄養士1名、調理員2名、看護師1名、医師・歯科医師各1名
- 定員／160名
- 利用相談窓口／当該施設、運営主体



# Challenge チャレンジ福祉の仕事

社会福祉法人さとに会 城北保育園

福祉分野の質的变化や制度改革などにより、福祉施設などではさまざまなキャリアや資格をもつ人材が求められ、それに応じて働きがいをもって福祉の仕事に新たにチャレンジしている人たちがいます。ここでは、福祉分野の仕事に就労し、情熱を燃やしている人たちを紹介します。

## 子どもたちの笑顔と先輩に支えられながら

保育士 村田 千紘さん



自分が保育園に通っていた時の先生に憧れ、保育士になった村田千紘さんは、保育の現場に就いた当初「短大での保育実習とは違い、分からないこともたくさんありましたが、子どもたちの笑顔がとても可愛く、一緒に過ごす時間がとても楽しく嬉しかったです」と笑みを浮かべます。

また職場では、同期の職員がいなくて不安だった村田さんを「大丈夫？」と気遣ってくれる先輩から安心感が得られ、「頑張らなくちゃー」という気持ちに切り替えられたとも話します。

仕事に就いた1年目は2歳児担当でした。そして「その子たちが年長クラスになる姿を見て、本当に大きくなったなあ」と、保育士になって良かったと思えます」と、お母さんのような感覚を抱いているようにも感じます。



今4年目となり1年目と同じ2歳児を担当しています。できないと思っていたことができるようになったことを間近で見ると成長に感動するだけではなく、日々保育の反省もしながら「今度はこれをやってみようか」と、成長に導くように努めています。

そんな中で、安全を見守り、子どもたち全体に目配りをしながら保育をすることなど、「先輩の保育を見て学び、自分の保育に取り入れながら頑張っています」と話す笑顔の中に、保育士としての責任をしっかりと感じ取っているように思えます。

「子どもたちが笑顔で先生〜と呼んで私のもとに来る姿がとても可愛く、何よりも喜びとなっています。そして、子どもたちの成長に関われることにやりがいを感じ、保育士になって良かったと思っています」と話す村田さんは、これからも、先輩保育士に相談したり、後輩とも打ち解けて楽しく仕事をしながら、子どもたちや保護者から信頼してもらえたい保育士を目指していきたい、と、前向きに取り組んでいます。

## 保育の喜びを感じながら自分を見つめて

保育士 細田 恵利子さん



今も幼稚園教諭として現役のお母さんの影響で、保育が身近に感じられたことから保育士を目指したという細田恵利子さんは、「いつも相談しています」と、母であり教師ともいえる望ましい親子関係にあるようです。

「実際に保育の現場に就いた頃は、仕事の多さとともに大変さに驚きました」と話す細田さんは、今年3年目になりますが、「子どもたちをはじめ保護者との関わり方を含めて、保育の進め方にまだ課題があると思っていますので、子ども、保護者、職員との信頼関係づくりを大切にしていきたいです」と、冷静に自分を見極めて

いるようです。

仕事は、日常の保育や行事をしながら、ICTシステム「ドモン」で記録をつけるほか、園内研修の計画と実施をしています。細田さんはその研修計画グループのリーダーで、園内公開保育をはじめ外部講師を招いての研修会など計画作りから実施と、重責を担っています。

そんな中で「大変なこともありますが、頼れる先輩方や同期の職員がいることで、心強く思えて頑張っています」と笑顔を見せます。

また「子どもたちの成長を間近に見られることが大きな喜びですし、0

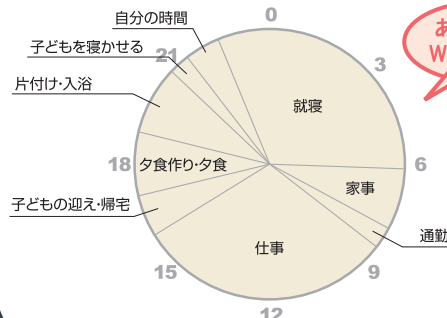
歳児で担任した子どもが2年経った今でも、私のもとに近づきながら「細田先生〜」と、子どもたちに呼ばれることが何より嬉しいですね」と、頑張れる大きな要因になっているようです。

そして「子どもたちの成長を肌で感じたり、保護者から感謝の言葉をもらえたり、先生で良かったと言ってもらえたときに、この仕事に就いて良かったと思えます」と話す細田さんは、これからも経験を積み重ね、社会的な視野を広げながら、物事を偏らず客観的に見て考え、行動できる保育士、そんな自分自身を目指していきます。



# 福祉専門職の紹介 子育て支援センター担当保育士

利用者と一緒に考え共に喜びを



ある一日の  
Work Style

社会福祉法人さとに会 城北保育園  
てらたに あや  
子育て支援センター 寺谷 彩さん  
担当保育士

保育士の資格が活かせる職場「子育て支援センター」は、育児中の保護者と子どもをサポートする地域交流の場です。気軽に遊びに行くことができ、同じような境遇の親子で交流をしたり、育児相談情報提供のほか、子育てについての不安や悩みも相談することができます。子育ての孤立化や子育ての不安感・負担感などを解消し、子どもの健やかな成長を目的としています。

## 現在の仕事の内容を具体的に教えてください



子育て支援センターを担当しており、子育てや家庭に関する様々な相談を受けたり、親子がともに遊び、自由に交流できる場の提供をしています。そのため、来所した親子が安心して遊べるように、ただ玩具を準備するだけではなく玩具の消毒や部屋の中の危険物の排除など、安心できる環境づくりを心がけています。また毎月、季節の行事に関わる物作りや子ども用品のリユース会、講師を招いてのイベント企画と準備なども行っています。

## 仕事のやりがい、魅力などを教えてください

利用者の相談を受けるときに、保育士としてのノウハウや自分自身の子育てなど、今までの経験をヒントにして

答えるようにしています。そして保護者から「ありがと」と言われたり、イベントが「楽しかった」と、満足してもらえたと感じられたときにやりがいを感じますね。

## 「この仕事に就いて良かった」と思うのはどんな時ですか？

利用者から気楽に相談を受け、悩みを共有して一緒に考え、家でできるようになった。〃解決した〃と聞いた時には、とても嬉しい気持ちになります。また、子どもたちが支援センターに行きたがっているや聞いたり、保護者から「先生に会いにきた」と言われたときも喜びとなっています。

## 仕事をするうえで大切にしていることは、どのようなことですか？

利用者の方たちに気持ちよく過ごしてもらえるように、来所退所の際は、笑顔で丁寧な挨拶をするように心がけています。利用された保護者と子どもにも「また来たい」と思ってもらえることが一番嬉しいです。

## 職場環境と働きやすさについてどのように感じていますか？

子育て中や育休の職員もいます。ま

た子どもが体調を崩したときも職場のシフトを調整してもらえたり、まわりの理解があり働きやすく助かっています。現在、短時間勤務を利用しており、個々にあった働き方ができることで働きやすく、仕事と育児の両立ができています。



## 休日は何をして過ごしていますか？

早起きをして家事をすませ、子どもと一緒に時間を多く持つようにしています。子どもが「公園にいきたい」と言えば、近所の公園で思いっきり体を動かして遊ぶことで、リフレッシュになっています。また自分も子どもも食べることが大好きなので、休日には一緒に餃子やピザ作りを楽しんでいます。

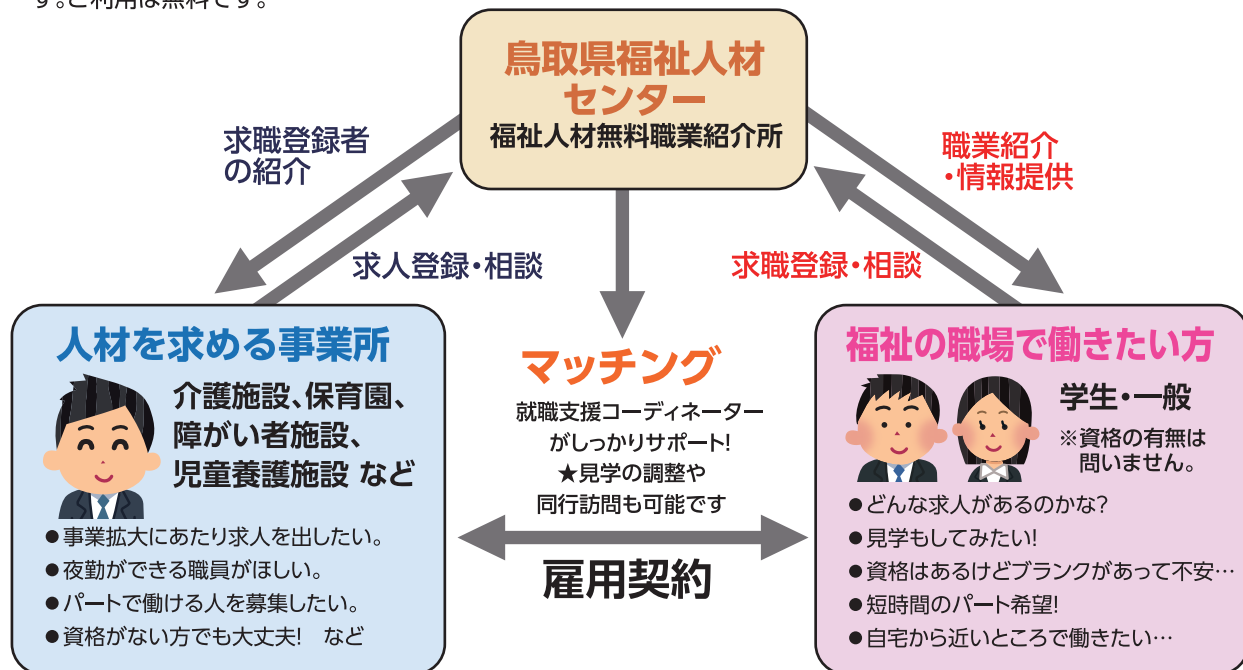
## 鳥取県福祉人材センターのご案内

# 福祉の職場で働きたい方と 人材を求める事業所との橋渡しをしています

鳥取県福祉人材センターは、職業安定法に基づく無料職業紹介事業(厚生労働大臣許可)をはじめ、福祉人材の確保・育成・定着に関わる総合的な取組を行っています。【無料職業紹介事業許可番号13-ム-010001】

### ■無料職業紹介事業

福祉の職場で働きたい方、求人情報を知りたい方には、求職登録や職業紹介、求人情報の提供を行います。また、人材を求める事業所には、求人条件に該当する求職登録者の紹介など、求人者と求職者双方のニーズに応えます。ご利用は無料です。



### 福祉の職場で働きたい方への職業紹介の流れ



### 人材を求める事業所への就業あっせんの流れ



まずはご相談ください!

鳥取県福祉人材センター

〒689-0201 鳥取市伏野1729-5 TEL (0857) 59-6336 FAX (0857) 59-6341

【開設日】 月～金 8:30～17:00 (祝日、年末年始は除く)

専用サイトで求職・求人登録・求人票の閲覧ができます。

**福祉のお仕事**

福祉のお仕事

検索





## とっとりボランティアバンク 登録団体紹介

## 託児ボランティアあいあい

「とっとりボランティアバンク」はボランティア活動に関心を持っている方が活動に参加する“きっかけ”を提供するため、県内の生活支援や災害ボランティアを中心にした情報を収集・発信しています。

バンクには「ボランティア活動をしたい」個人と「ボランティア活動をしたい／ボランティアを募集したい」団体が登録しています。このコーナーでは登録団体についてその活動や想いを紹介します。

【ホームページ】 <https://www.torivc.jp>



託児ボランティアの様子

## 子育て中の保護者を応援したい



代表の川本勇樹さん

「託児ボランティア  
あいあい」  
（以下「あい  
あい」）は鳥  
取県中部を  
中心に活動

しています。講演会やコンサート、親子サークルなどのイベント時に子育て中の保護者が参加しやすくなるように、同じ会場内で一時的に子ども（6か月から未就学児、小学生は要相談）を預かる活動をしています。

設立は平成27年9月21日、現代表の川本勇樹さんが休止状態にあった前団体を復活させ、再設立しました。川本さんには「学童保育などの仕事をしてきた中で、もっと子どもに関わる活動をしたい」との思いがありました。また、育児のためにイベントや研修への参加を諦めている保護者の声を聞いていたことも再設立に向けた動機でした。

「託児サービス」を知らない親御さんも多くおられます。県中部でイベント等を主催する企業・団体施設の方はぜひ声をかけてください」と川本さんは言います。

## 安心・安全、そして楽しむのがポイント

『子どもたちが安全に楽しくのびのびと過ごせるように見守る』が、あいあいの託児活動のモットーです。主催者等が用意した部屋を臨時託児所と

し、保育士資格のある責任者と会員で子どもを預かります。会員は全員有資格者や子育て経験者等です。預かってある間の様子は記録しメモにまとめ、保護者に説明します。子どもにも保護者にも信じてもらい今後安心して預けていただけるよう、あいあいでは心がけています。

## 気軽に集まれる場所を作りたい

川本さんは活動の中で、子育て中の保護者が他の保護者との関わり合いを持つ機会が少なく一人で悩みがちになることに課題を感じていました。そこで、気軽に親子が集まれる場所として『駄菓子屋コミュニティあいあい』を企画中です。子どもたちが買い物体験や遊び・宿題などをして自由に過ごし、保護者もコーヒーを飲みながら情報交換や仲間づくりができ、そこに様々な地域住民やボランティアも関わって親子を見守っていく第三の居場

所です。川本さんは実現に向けて情報収集や各所への相談をしています。

## 親子を応援する

## 仲間になりませんか

長引くコロナ禍で活動が制限されていたこともあり、あいあいの会員数は8人から現在は3人となりました。今後、社会活動が活性化していく中で、あいあいでは一緒に活動する会員を募集しています。保育士資格のある方や学童保育指導員だけでなく、高校生以上で保育士等を目指す学生の方、子育てが一段落した方、あいあいの活動に関心がある方を募集しています。コロナ前に実施していた託児ボランティア養成講座も再開したいと考えています。

また、運営の事務的なお手伝いや、寄付で活動を応援していただける方、子どもや子育て世帯を応援する取組みでコラボレーションできる団体なども募集しています。川本さんは『あいあい』の名前は家庭の「愛」と地域の「愛」がかけ合わさって大きな愛で子どもを育てるという意味があります。子どもに関わるのが好きな方、ぜひお待ちしています」と話します。興味をもった方はぜひ御相談ください。

託児ボランティアあいあい

代表／川本勇樹

【問合せ先】

電話060-6406-2606(川本)

Email: takuji\_aiiai@yahoo.co.jp



Instagram

# ち 社団法人つなぐプロジェクト「te to te～つなぐん家～」

## 「ただいま」おかえり 家庭のような空気感

一般社団法人つなぐプロジェクトは、病気や障がいがあったり、不登校や引きこもりになった子どもを含め、家庭や学校以外で誰でも気軽に集まって過ごせる「第三の居場所」づくりを目指しています。その拠点となる「te to te～つなぐん家～」が、2022年11月に米子市の中心市街地にオープンし、立場や世代を超え、みんなで子どもたちの成長を見守る場として育まれています。



te to te～つなぐん家～が入るビル

### いま子どもに何が起きているのかの疑問から

代表理事の今川由紀子さんが、鳥取大学医学部附属病院での広報業務を通じて、病気や障がいのある子どもたちと出会い、ふれあう中で「この子どもたちがこの地域で生きていくことを伝えたい。何か子どもたちが社会とつながるようにできないか」と思ったことから、つなぐプロジェクトは発足しました。

そして、病気や障がいのある子どもや家族のサポートをしていると、不登校や発達障がいのような症状がある子どもが増え、いま子ども

もたちに何が起きているのかと思う中、「子どもも親もいろいろな悩みを抱えていることを目の当たりにしたことから、学校でも家庭でもない、もう一つの居場所の必要性を感じました」と、今川さんは話します。

そして、つなぐプロジェクトと日本財団、米子市の三者協定により「子ども第三の居場所」事業コミュニケーションモデルがスタートし、地域の子どもの居場所「te to te～つなぐん家」の開設に至りました。



代表理事の今川由紀子さん

### 成長と導き、知恵と愛情を育む場所

施設は3階建の空きビルを活用し、内装には鳥取県産のスギやヒノキが



1階「木育」のフロア

木製のおもちゃやゲームがいっぱい



ふんだんに使われています。フロアごとにコンセプトが異なり、ルールを守りながらその折々に好きなフロアを利用できます。

1階は、木製のおもちゃやゲームで遊べる「木育」の場で、子どもたちが一緒に遊んで過ごせる、木の香り漂う癒される空間になっています。

2階は、読書や学習をしたり、みんなでお茶を飲みながら話したり、食事

ができる「家庭のようなだんらん」の場となっています。

3階は、静かに過ごす空間とし、集中して学習に取り組めるフロアです。理事でシステムエンジニアの石原睦巳さんは「発達障がい（発達特性）であり、それぞれの子どもには夢があり、生きる権利があります」と話します。そして、「ゆくゆくはプログラミング



奥にダイニングとキッチンが続く2階「だんらん」のフロア

鳥取県ボラセン  
キャラクター  
「はーちゃん」



毎日利用する  
まりかちゃん(7)  
と理事の石原睦  
巳さん

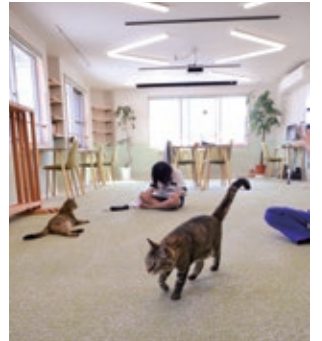


乳幼児は保護者  
同伴必須で500  
円(いずれも税込)  
です。  
食事は、今川さん



キッチンでは今川さんと近所のボランティアの  
主婦がおやつを用意を

# 一般



3階の静かに過ごすフロアでは保護猫たちとのふれあいも

## 子どもたちを応援し、 子どもたちを知るため

教室としてへ不可能を可能にする一歩を踏み出せる、学びと可能性のあるフロアにしたい」とも話します。

運営日は、毎週月曜〜金曜日の午前9時〜午後8時、小学生から高校生が対象で利用には登録が必要です。1日当たりの利用料は食事なしで440円、食事は1食220円、

と近所の主婦たちのボランティアで作られ、高校生の利用者も手伝います。手作りを基本に、国産でできる限り地元の食材を活用し、栄養バランスが考えられた昼食・夕食と、おやつも提供も行っていきます。

夕方になると鳥大医学部のボランティア部やサークル活動の一拠点として、様々な学生ボランティアが来所します。この日訪れたのは5年生の大端周さんと4年生の浅原真弓さんに3年生の木下晴香さんです。子ども大好きで小児科志望の3人は「院内だけでは理解できない、複合的な子どもの状況を知ることができ、将来の診療に役立つの思いから」と話します。



鳥大医学部のボランティアたち。左から3年の木下晴香さん、5年の大端周さんと4年の浅原真弓さん

## 大人の価値観を押しつけないでゆっくりと

施設がオープンして半年が過ぎ、子どもたちの不安定な気持ちが落ち着きを見せるようになりました。笑顔が増え、食欲も戻り、どの子どももその子らしく過ごす様子が見られるようになりました。

また、引きこもり気味だった子どもも自らが学校に行く決意して行動に移せたり、不登校で苦しんでいた子が卒業を間近にして、自分で卒業式生活にけじめをつけられたときは、「本当に良かった」と涙が出ました」と、今川さんは笑顔で浮かべて話します。

どうして短期間で良い傾向が見られたのかと問うと、「分かりませんが今川さん。しかし話を聞く中で、「大人の価値観で決めつけないで、ゆっくり少しずつ、見守りながら子どもが主体性を育むこと」だと感じられました。

## 「令和の地域コミュニティづくり」をめざして

拠点は米子市角盤町の米子高島屋近くであり、「角盤町商店街」の人たちや「Gビルフェスタin米子」の実行委員の方々と顔見知りになった子どもたちは、とても可愛がってもらっているそうです。また山陰放送主催で、子どもたちに質の良い教育や地元企業を知る機会を提供するBSS×SDGs「tettoe」で体験授業を開催するなど、地域に根ざした広がりを見せています。

「まず地域のみなさまに子どもたちを知っていただくこと。そして中心市街地だからこそこできる(令和の地域コミュニティづくり)で、子どもたちをみんなで一緒に育てていきたい」と、今川さんは情熱をうかがわせます。

## 受けた喜びをつなぐ やさしい手のバトン

「これからも課題を持つ子どもたちと真正面から向き合って寄り添い、親御さんの応援団でありたい。いつの日か、ここを卒業した子どもたちがtettoeに行くと良かった」と、子ども時代の楽しく心が暖まる思い出の一つになれば本望です」と話す今川さんは、子どもたちがこの地域のみなさんに支えられたことを忘れず、いつかこの地域で活躍し、今度は自分たちがこの地域を支えてくれることを心から願っています。



「ここではいろいろな年代の人と話ができ、気持ちが楽になる」と話す利用者の野坂友輝さん(右)と安野健太さん(左)

## 一般社団法人つなぐプロジェクト 「tettoe〜つなぐ家〜」

代表 今川由紀子

問合せ先

鳥取県米子市角盤町1丁目60番地

電話0859-57-80030

ホームページ

<https://tsunagu-project.com/>

E-mail: [info@tsunagu-project.com](mailto:info@tsunagu-project.com)

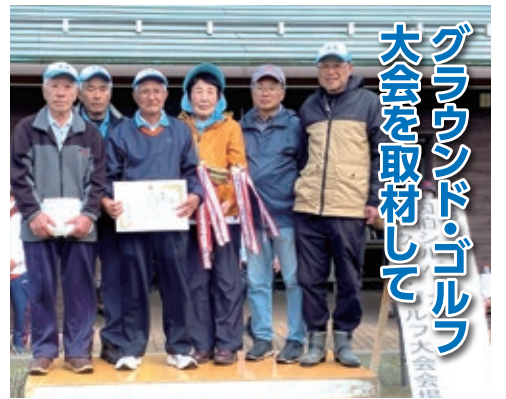
## 第31回 因伯シルバー大会

5月6日(土)から5月14日(日)の間、あやめ池スポーツセンター等、県中部の会場を中心に第31回因伯シルバー大会を開催しました。新型コロナウイルス感染症による行動制限も緩和され、3年振りに中止や縮小もなく全ての種目で競技を行うことができました。

この大会は、高齢者がスポーツや文化活動を通して、仲間づくり、健康と生きがいづくりを促進し、活力に満ちた明るい長寿社会になることを目的としています。県内在住の60歳以上の方、約430名が参加し、卓球やテニス、ソフトボール、健康マージャン等12種目において、日頃の成果を発揮され、楽しく交流と親睦を深められました。この大会は10月開催の「第35回全国健康福祉祭えひめ大会(ねんりんピック愛媛のえひめ2023)」の選手選考会も兼ねており、上位入賞者は鳥取県代表として出場されます。



ペタンクの様子



優勝した北条スポーツBチームの皆さん(右端が村上さん)

5月8日(月)開催のグラウンド・ゴルフの会場(レークサイド大栄は前日の雨の影響でグラウンドコンディションがあまり良くない状態でしたが、日中は天候も回復し、選手の皆さんは青空の下で活気あふれるプレーを繰り広げられました。

団体優勝された北条スポーツBチームの村上恒男さんに優勝された感想とねんりんピックへの意気込みについてお聞きしました。村上さんは、「北条地区は県内でもレベルが高く地区予選で勝つて、このたび県大会でも優勝したことは本当にうれしい。これもチームの日頃の練習の成果だと思っ。ねんりんピックではぜひ頑張りたい。」と力強く話されました。

最後まで力を出し切り、成果をおさめられることを期待しています！

## ねんりんピックはばたけ鳥取2024 ボランティアセンターを開所しました

6月2日(金)、県立福祉人材研修センターで「ねんりんピックはばたけ鳥取2024ボランティアセンター」(以下ボランティアセンター)の開所式を行いました。

開所式には、関係者、鳥取大学・鳥取短期大学学生等約60名が参加。参加した学生と看板の除幕

を行い、平井知事より「全国から来県される皆さまをお迎えする温かさが鳥取県にはある。成功のカギはボランティアセンターにかかっている。」と激励の言葉をいただきました。

鳥取県社会福祉協議会内に設置されたボランティアセンターでは、来年10月に鳥取県内で開催される第36回全国健康福祉祭とつとり大会「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」の開催に向けて大会ボランティアの募集・育成を行います。多くの県民の方々に大会へ参加いただき、全国から集まる

選手等をおもてなしの心で温かく歓迎し、大会の円滑な運営を支えるため延べ1,000人のボランティアを募集します。大会の運営補助のほか、大会までのPRイベントでの広報活動や選手歓迎おもてなしのイベント・取組みの提案・企画にも参加いただけます。



多くの方のご応募をお待ちしています。応募に関する詳細は13ページをご覧ください。

※全国健康福祉祭愛称「ねんりんピック」は60歳以上の高齢者を中心にスポーツや文化活動の交流等を通じ、世代を超えて交流の輪を広げる健康と福祉の総合大会です。小さなお子様から高齢者まで幅広い世代の方に楽しんでいただけるイベントも行われます。

## 人との関わりを大切に



ことぶきレポーターの取材より

県内の素敵な高齢者を同世代のことぶきレポーターが取材をします。「シニア」の「シニア」によるシリーズ。地域で頑張っている人、生きがいをもって暮らしている人など高齢者の魅力を余すことなく紹介します。



渡邊泰治さん

地域の子どもから同年代の方まで、様々な年代の方とふれあいや交流をされている、米子市にお住まいの渡邊泰治さん(66歳)にお話を伺いました。

スポーツが好きな渡邊さんは、50代までは、スキー、卓球、ボウ

リング等を楽しまれました。今は体力的に出来るスポーツは減ってしまいましたが、ペタンクや町内の行事に参加されるなど、活躍されています。映画や音楽鑑賞も趣味で、「50年以上前のものを大音量で聞くことが、ストレス解消には一番です」とおっしゃっていました。病気やケガを繰り返して、月に1回病院に通われており、身体の調子の優れない日は起床時間等を変えながら体調を調整されているようです。毎日を調子よく過ごすための秘訣を伺うと、「起床後にまずうがいをしてから白湯を飲み、上半身のストレッチをしながら声出しを行い、朝食後はスクワットや足上げ、腹筋等をして体力づくりをしている」と朝のルーティーンを教えてくださいました。

渡邊さんは、以前ご自身の子さんが野球をしていた頃に指導をされていたこともあり、近所の子どもたちが放課後サッカーや野球をして遊んでいるところに出向き、アドバイスをされています。「子どもたちが元気に遊ぶ姿を見たり、ふれあう事が私の生きがいだ」と話して



ペタンク大会の様子

くださいました。前述の日課のおかげで病気に負けず子どもたちとふれあうことが出来るのだと感じました。

他にも、町内の同年代の知人宅を週に何回か訪問し、話し相手となり心配事や相談を聞いたり、見守り活動もされています。時には一緒にスーパーに行き、買い物をしたりします。家の周りの掃除や、洗濯等日常生活に欠かせない事などもサポートされています。退職してからは近所の方との交流も増え、野菜や魚等たくさんいただくこともあり



自分の出来る範囲で実行し、人との関わりを大切にしている渡邊さんの姿に感銘を受けました。

取材を終えて一言

岡田 信行さん(米子市)

これからも少子高齢化が進みます。私自身も高齢のため、皆さんに迷惑をかけずに生活をしなければならぬと思います。しっかりと体調管理をされ

り大変助かっているとか。渡邊さんのモットーは『一期一会を大切に』。お父さんがよく言っていた言葉だそうです。これからも出会いを大切にし、地域の方たちとも支えあいながら活動を続けてほしいと思います。



町内の行事に参加する様子

## ねんりんピックはばたけ鳥取2024 大会ボランティア募集



あおや かみじろう

## 第36回全国健康福祉祭とっとり大会

## ねんりんピックはばたけ鳥取2024

多くの県民に大会へ参加していただき、全国から集まる選手・役員等を鳥取県ならではのおもてなしの心で温かく歓迎するとともに、式典やイベントをはじめ、大会の円滑な運営を支えていただく大会ボランティアを広く募集します。

■募集人数:延べ1,000人程度

■募集期間:2023年6月7日(水)~2024年5月31日(金)

●活動内容:事前PR活動・ミーティング(企画・提案等)、大会運営補助等

※詳しい活動内容、日程などは下記ホームページでご確認ください。

●応募方法:ボランティア応募フォーム(右記のQRコード)より申し込み、または応募用紙に必要事項を記入の上、下記応募先にご提出ください。

※申込時に18歳未満の方は、保護者の同意が必要となります。

持参の場合は、平日8時30分から17時までを受付時間とします。

応募フォーム  
【個人用】

【応募・お問合せ先】

鳥取県社会福祉協議会 ねんりんピックはばたけ鳥取2024 ボランティアセンター

TEL:0857-59-6338 FAX:0857-59-6340

メール:nenrinvc@tottori-wel.or.jp

ホームページ:https://www.tottori-wel.or.jp/nenrin36/



ホームページ

## とっとりボランティアバンクにご登録ください

ボランティア

の力を  
借りたい  
を  
してみたいそんなときは…  
とっとり  
ボランティア  
バンクにご登録  
ください!誰かのために  
力になりたいボランティア  
したいけどどこで  
募集してるの?ボランティアと  
一緒に地域を  
元気にしたい!ボランティアの  
力を借りたいボランティアバンクでは  
こんなお手伝いをしますボランティアの  
活動調整ボランティアを募集する  
方と、活動する方との調  
整を行います。ボランティア活動  
に関する情報提供  
(メルマガ)登録された方に、ボラン  
ティア募集やボランティ  
アに関する講座・研修な  
どの情報をメールなど  
で提供します。ボランティア活動  
に関する相談受付ボランティア活動に関す  
る困りごと、お悩み、助成  
金の申請方法など、何で  
もご相談ください。ボランティアバンクに  
登録いただくと…ボランティア  
したい人  
(団体)県内外のボランティ  
ア募集やボランティ  
ア関連講座・研修な  
どの情報を受け取る  
ことができます。ボランティアの  
力を借りたい  
団体とっとりボランティア  
バンクのHPやメル  
マガを通じてボラン  
ティア募集やボラン  
ティア関連講座・研修  
などの情報を発信で  
きます。

登録したいと思ったら…

下記ホームページから登録いただくか、登録票に必要事項を記入のうえ、ファクシミリもしくはEメール、郵送にて送付してください。登録票は下記ホームページからダウンロードいただくか、お問い合わせ先にご連絡ください。

ホームページアドレス <https://www.torivc.jp/>



●お問い合わせ・ご相談 福祉振興部(鳥取県ボランティア・市民活動センター)まで TEL:0857-59-6344 FAX:0857-59-6341

令和5年度

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

# ボランティア活動保険



**保険金額・年間保険料 (1名あたり)** 団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金			1,040万円		
	後遺障害保険金			1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額			6,500円		
	手術保険金	入院中の手術			65,000円	
		外来の手術			32,500円	
	通院保険金日額			4,000円		
	特定感染症		補償開始日から10日以内は補償対象外(*)		初日から補償	
地震・噴火・津波による死傷		×	○	○		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)			5億円(限度額)		
<b>年間保険料</b>			<b>350円</b>	<b>500円</b>	<b>550円</b>	

商品パンフレットは  
コチラから



(ふくしの保険  
ホームページ)

\*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

## <重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

**ボランティア行事用保険** (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

**送迎サービス補償** (傷害保険)

**福祉サービス総合補償**  
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〈引受幹事  
保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL: 03 (3349) 5137

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)  
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

# HOTeyeギャラリー

## 社会福祉法人鳥取県厚生事業団 伏野つばさ園 作品紹介

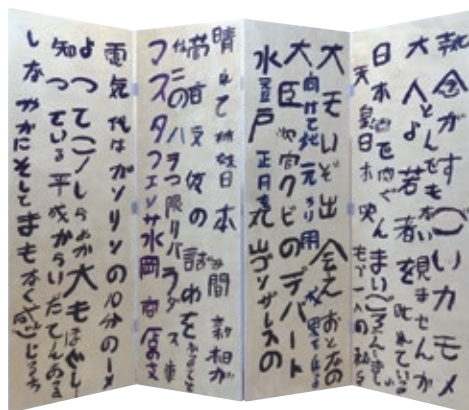


令和5年4月で開園一周を迎えた伏野つばさ園ではグループ「タートルズ(亀楽班)」でアート活動に取り組んでいます。作品は「鳥取県障がい者芸術・文化作品展あいサポート・アートとっとり展」への出品や、白兔はまなす園時代から続く鳥取百花堂での毎年2月開催の個展などで展示していますので機会があればぜひご覧ください。



### 【林繁実さんの作品】

林さんは鉛筆で字の外枠を書き墨汁で塗りつぶす独特の手法で、新聞やチラシなどで見かけた言葉を連ねていくことで作品を作り上げます。最近は絵も加え、表現の幅を広げています。



「諸行無常」サイズ:W(182)×H(150)

「合掌」サイズ:W(91.5)×H(62)

## 社会福祉法人 鳥取県社会福祉協議会

〒689-0201 鳥取市伏野1729-5(県立福祉人材研修センター内)  
URL <https://www.tottori-wel.or.jp> e-mail [soumu@tottori-wel.or.jp](mailto:soumu@tottori-wel.or.jp)

福祉人材の  
求人・求職  
の窓口です

### 鳥取県福祉人材センター

TEL.0857-59-6336 FAX.0857-59-6341  
URL [https://www.tottori-wel.or.jp/jinzai/shigoto\\_top/](https://www.tottori-wel.or.jp/jinzai/shigoto_top/)  
e-mail [jinzai@tottori-wel.or.jp](mailto:jinzai@tottori-wel.or.jp)

ボランティア活動の  
幅を広げる  
活動を応援します

### 鳥取県ボランティア・市民活動センター

TEL.0857-59-6344 FAX.0857-59-6341  
URL [https://www.tottori-wel.or.jp/hukushi/vol\\_top/](https://www.tottori-wel.or.jp/hukushi/vol_top/)  
e-mail [vc@tottori-wel.or.jp](mailto:vc@tottori-wel.or.jp)

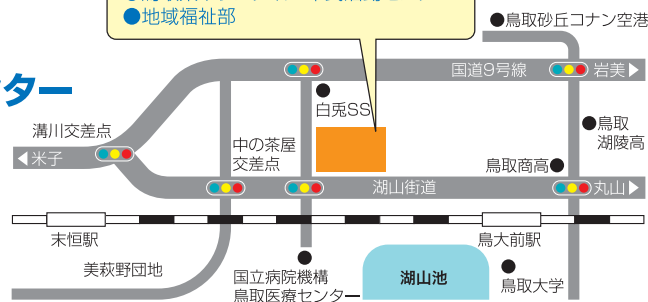
元気な高齢者の  
生きがい・社会貢献  
を支援します

### 明るい長寿社会づくり推進事業担当

TEL.0857-59-6332 FAX.0857-59-6340  
URL <https://www.tottori-wel.or.jp/chiiki/kotobuki/>  
e-mail [kototori@tottori-wel.or.jp](mailto:kototori@tottori-wel.or.jp)

### 県立福祉人材研修センター

- 鳥取県福祉人材センター
- 鳥取県ボランティア・市民活動センター
- 地域福祉部



本誌について、また、福祉に関することについて  
県民のみなさまからの御意見をお寄せください。

